

やってほしいや、やれというのではなく、まずは自分がやっていることが大切です。誰かひとりが動くことで全体が変わり始めることもあります。それは、決して組織のトップである必要はありません。自分が一歩踏み出すことが大切です。いいと思うこと、大切だと思うことは、誰もやっていなくても自分が始めればいい、逆に誰かがやるだろうと思っていることは、誰もやらないことだと、知る必要があります。『自分が』の主体性、自主性こそがリーダーシップの要諦ではないでしょうか。意識を変えることで行動となり、その一歩こそが自分自身の変革です。

リーダーとは、組織の鏡です。組織のメンバーや会社のスタッフのやる気を起こすのも下げるのも私達が全てだと考えます。そのために、リーダーが本気の思い(理念)を持って、やる気を高める人財育成、共同体としての連帯感を生む信頼形成に取り組まなくてはなりません。これらのことを踏まえ、経済人育成委員会では、リーダーとしての成長に繋がるような事業を開催したいと考えております。

柔軟に過去と未来を繋ぐ知恵と想像力、そして行動力を養い、新しい伝統を築くことが青年経済人には、求められています。そして、会社や地域のリーダーとして、家族・社員とその家族・そして自分に関わる人達が幸せになれるよう努めることが私達、青年経済人の使命です。これらのことを成しとげる為には、会社が元気でなければいけないと思います。そのために、私達は、日々自己研鑽するのです。それは、「明るい豊かな社会の実現」を目指す青年会議所メンバーの責務であり誇りだと思います。メンバー全員で共に切磋琢磨しあい、子供達に誇れる未来を創っていきましょう。

会社が元気ならば地域が元気になる。

地域が元気ならば日本が元気になる。

日本が元気ならば子供が元気になる。

子供が元気ならば希望あふれる未来が創られる。